

# 応用生態工学会 第13回総会資料

開催日時：2009年9月26日（土）12：30～13：30

会 場：埼玉会館（さいたま市浦和区高砂 3-1-4）

## 資料目次

|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 資料－1  | 一般経過報告                     |
| 資料－2  | 会員状況報告                     |
| 資料－3  | 総会・理事会・幹事会・委員会報告           |
| 資料－4  | 会誌「応用生態工学」編集報告             |
| 資料－5  | 2008年度（平成20年度）事業報告         |
| 資料－6  | 2008年度（平成20年度）決算報告         |
| 資料－7  | 2008年度（平成20年度）監査報告         |
| 資料－8  | 2009年度（平成21年度）事業実施状況・収支見込み |
| 資料－9  | 2010年度（平成22年度）事業計画案        |
| 資料－10 | 2010年度（平成22年度）予算案          |
| 資料－11 | 役員の改選                      |
| 資料－12 | 名誉会員の推薦                    |

<添付資料>

- ・ 役員名簿（第6期）

総会の成立には正会員の1/5の出席が必要であるため，  
欠席される正会員は，別途送付する電子メール・ハガキ等  
の委任状に必要事項を記載の上，9月14日(月)までに事務局  
までご返信くださいますようお願い致します。

## 応用生態工学会 第13回総会 議事次第

開場（受付開始）

1. 開会 [司会：事務局長 仮谷伏竜]

2. 総会議長選出

3. 会長挨拶 [会長：山岸 哲]

4. 議事開始 [議長]

### 4.1 報告事項

平成20年度事業報告 [幹事長：江崎 保男]

- (1) 一般経過報告（資料-1）
- (2) 会員状況報告（資料-2）
- (3) 総会・理事会・幹事会・委員会報告（資料-3）
- (4) 会誌「応用生態工学」編集報告（資料-4）
- (5) 2008年度（平成20年度）事業報告（資料-5）

### 4.2 審議事項

(1) 第1号議案 平成20年度決算・監査報告 [幹事長：江崎 保男]

① 決算報告（資料-6）

② 監査報告（資料-7） [監事：小林 光]

(2) （参考）平成21年度事業実施状況・収支見込み（資料-8）

(3) 第2号議案 平成22年度事業計画案（資料-9）

(4) 第3号議案 平成22年度予算案（資料-10）

(5) 第4号議案 役員の改選（資料-11）

(6) 第5号議案 名誉会員の推薦（資料-12）

5. 総会終了

## 一般経過報告

2008年度（平成20年度：2008年4月1日～2009年3月31日）、併せて、2009年度（平成21年度：2009年4月1日～）の応用生態工学会の一般経過を以下に報告する。

## 2008年度（平成20年度）応用生態工学会一般経過報告

|           |   |
|-----------|---|
| 4.1       | 平成20年度開始  |
| 4.4       | 情報サービス委員会活動準備打合せ（麹町：学会事務局）  |
| 4.9       | 編集委員会原稿管理打合せ（麹町：学会事務局）  |
| 4.26-27   | 後援行事：G8環境大臣会合開催記念シンポジウム アジアからの発信 人と自然の共生のみちをさぐる：環境省、兵庫県立人と自然の博物館（兵庫県立人と自然の博物館）                          |
| 5.8       | 第33回幹事会、第41回理事会（平成19年度決算報告、平成20年度事業計画、役員改選、第12回大会他）   |
| 5.16-17   | 近畿現地ワークショップ in 琵琶湖一現地で応用！生態工学「琵琶湖源流域の自然と文化を訪ねて」一（滋賀県東近江市） [参加者：35名]                                     |
| 5.22      | 普及委員会（麹町：学会事務局）   |
| 6.3       | 応用生態工学会 東京 第2回勉強会 市民—研究者連携による外来植物の管理・モニタリング（国交省関東地方整備局501会議室） [参加者：61名]                                 |
| 6.16      | ニュースレター40号発行（理事会・幹事会報告、第12回大会（ELR2008福岡）案内など）   |
| 6.30      | 会誌11巻1号発行   |
| 7.10      | J-STAGE 掲載開始（第10巻1号から）  |
| 7.18-8.11 | 第34回幹事会（メール会議：規約改正）、第42回理事会（メール会議：規約改正）   |
| 8.25      | ニュースレター41号発行（理事会・幹事会報告、第12回総会資料など）  |
| 8.26      | 応用生態工学会 札幌 セミナー「本来の川を取り戻すために... その4『型を取った“多自然川づくり”水理模型実験&講演会」 ((独)土木研究所寒地土木研究所) [参加者：水路実験見学169名、講演174名] |
| 9.20-23   | ELR2008福岡(三学会合同大会)：福岡大学 [参加者総数：552名]  |
| 9.20      | 研究発表（口頭、ポスター）、研究集会 各委員会、第35回（拡大）幹事会   |
| 9.21      | 研究発表（ポスター、口頭） 第12回総会 第43回理事会  |
| 9.22      | 公開シンポジウム「自然再生の課題と展望」、エクスカッション（河川整備基金事業）   |
| 9.22      | 後援行事：第11回水源地生態研究セミナー：（財）ダム水源地環境整備センター [参加者：約200名（NTT夢天神ホール）]  |
| 9.23      | ELR2008福岡エクスカッション   |
| 10.19-24  | 共催事業：「環境とダムの共存に関する国際シンポジウム」 （パシフィコ横浜）   |
| 10.30-31  | 第7回北陸現地ワークショップ in 能登「能登の風土」～日本の原風景を守ろう～ [ワークショップ：能登空港ターミナルビル、参加者168名<br>現地見学会：北河内ダム・栗津ビオトープほか、参加者40名]   |
| 11.8-9    | 応用生態工学会 仙台 第4回東北現地ワークショップ in 弘前（弘前大学農学生命科学部402講義室） [ワークショップ：参加者65名、現地見学会：参加者19名]                        |
| 11.9      | 応用生態工学会 東京 第3回勉強会 「多摩川のつる植物の繁茂とその対策を考える現地見学会」（狛江水辺の学校くるみ広場、狛江市南部地域センター） [参加者：15名]                       |
| 11.21     | 応用生態工学会 東京 第4回勉強会 「植生を巡る最近の話題（外来種と景観問題、地球温暖化と植生等）」（埼玉大学総合研究棟） [参加者：約30名]                                |
| 12.8      | ニュースレター42号発行（第12回総会報告、ELR2008福岡報告など）  |
| 12.9      | 第36回幹事会、第44回理事会（麹町：学会事務局）   |
| 2.28      | ニュースレター43号発行（役員会報告、行事報告、平成21年度会費納入依頼等）  |
| 3.23      | 第37回幹事会、第45回理事会（麹町：（財）ダム水源地環境整備センター）  |

## 2009 年度（平成 21 年度）応用生態工学会一般経過・予定報告

|            |   |
|------------|---|
| 4. 1       | 平成 21 年度開始  |
| 4. 10      | 編集委員会（麹町：学会事務局）   |
| 4. 24      | 第 2 回埼玉大会実行委員会（東京：埼玉大学サテライト）  |
| 4. 24～5. 1 | 第 46 回理事会（メール会議）  |
| 5. 7       | 第 1 回次期役員募集・推薦委員会（麹町：学会事務局）   |
| 5. 10      | 第 38 回幹事会（麹町：弘済会館）  |
| 5. 11      | 第 47 回理事会（麹町：（財）ダム水源地環境整備センター）  |
| 5. 11      | パートナーシップ委員会（麹町：（財）ダム水源地環境整備センター）  |
| 5. 31      | ニュースレター44 号発行   |
| 6. 4       | 普及委員会（永田町：砂防会館）   |
| 6. 5       | 応用生態工学会 東京 第 7 回勉強会「空から環境を測るーリモートセンシング技術の活用ー」（麹町：（財）ダム水源地環境整備センター） [参加者：27 名]   |
| 6. 28      | 応用生態工学会 東京 第 8 回勉強会「新・名水百選 東京・落合川の保全に関する現地勉強会」（東久留米市：自由学園） [参加者：25 名]   |
| 6. 29      | 埼玉大会実行委員会 部会長打合せ（麹町：学会事務局）  |
| 7. 1       | 会誌「応用生態工学会」論文電子投稿開始（J-STAGE）<br><a href="http://www.jstage.jst.go.jp/browse/ece/-char/ja/">http://www.jstage.jst.go.jp/browse/ece/-char/ja/</a> |
| 7. 3       | 第 1 回応用生態工学会 COP10 対応 WG（名古屋市：名城大学名駅サテライト）  |
| 7. 14      | 第 2 回次期役員募集・推薦委員会（麹町：学会事務局）   |
| 7. 29      | 共催事業：オープンフォーラム 第 2 回 流域圏と生物多様性、「伊勢湾流域圏の自然共生型環境管理技術開発」研究プロジェクト（名古屋市：名古屋大学シンポジウム）   |
| 8. 1       | 後援事業：日本生態学会自然再生講習会 第 1 回「あなたにもできる自然再生：生態学の視点から」（文京区：東京大学農学部）  |
| 8. 4       | 共催事業：オープンフォーラム 第 3 回 流域圏と生物多様性、「伊勢湾流域圏の自然共生型環境管理技術開発」研究プロジェクト（名古屋市：東建ホール・丸の内）   |
| 8. 17-18   | 応用生態工学会 札幌 ワークショップ「多自然川づくりが目指す河岸・河床」<br>[セミナー参加者：158 名、ジオツアー参加者：34 名]   |
| 8. 21-22   | 応用生態工学会 広島 第 3 回ワークショップ 江田島湾再生協議会ジョイントシンポジウム ～太田川-広島湾流域圏の自然再生を考える～  |
| 8. 28      | ニュースレター45 号発行（第 13 回総会資料、第 13 回埼玉大会案内など）  |
| 9. 10      | パートナーシップ委員会（名古屋市：（財）河川環境管理財団）   |
| 9. 17      | 第 2 回 応用生態工学会 COP10 対応 WG（名古屋市：名城大学名駅サテライト）   |
| 9. 25      | 第 13 回埼玉大会 研究発表（ポスター），自由集会 [学会内各種委員会]   |
| 9. 26      | 第 13 回埼玉大会 研究発表（口頭），分科会，公開シンポジウム，総会，懇親会 [学会内役員会]  |
| 9. 27      | 第 13 回埼玉大会 研究発表（口頭），自由集会，エクスカッション説明会  |
| 9. 28      | 第 13 回埼玉大会 エクスカッション（荒川 上流・中流・下流の 3 コース）   |
| 9. 28      | 後援事業：第 12 回水源地生態研究セミナー（財団法人ダム水源地環境整備センター）   |
| 10. 30-31  | 応用生態工学会 福井 第 8 回北陸現地ワークショップ in 福井 「九頭竜川流域の多様性 ～つながりの保全・再生をめざして～」（福井県・福井県立大学）  |
| 11. 20-21  | 応用生態工学会 名古屋 矢作川フィールドシンポジウム<br>持続性を目指す流域圏 ～砂河川“矢作川”での取り組み～   |
| 11. 28     | 応用生態工学会 大阪 第 2 回近畿 WS in 加古川 現地で応用！生態工学<br>「河川・流域の管理と連携 ～河川、ため池、播磨灘につながる水圏ネットワーク～」  |
| 11 月       | 応用生態工学会 福岡 2009-九州の応用生態工学の事例と研究-（予定）  |
| 秋季         | 応用生態工学会 松山 勉強会：重信川の自然再生   |
| 12 月       | ニュースレター46 号発行（第 13 回総会報告、埼玉大会報告など）  |
| 12 月       | 第 40 回幹事会、第 49 回理事会（平成 21 年度活動状況、平成 22・23 年度事業計画など）   |
| 2 月        | ニュースレター47 号発行（役員会報告、行事報告、平成 22 年度会費請求など）  |
| 3 月        | 第 41 回幹事会、第 50 回理事会   |

## 会員状況報告(平成21年8月6日現在)

### —— 入会者 ——

|          | 正・学生会員  | 賛助会員               |
|----------|---|--------------------|
| 平成9年度入会  | No. 1001～1048 (48名)<br>No. 7001～7692 (欠番1、691名) | No, 101～156 (56法人) |
| 平成10年度入会 | No. 8001～8171 (171名)                            | No, 157～160 (4法人)  |
| 平成11年度入会 | No. 9001～9101 (101名)                            | No, 161～163 (3法人)  |
| 平成12年度入会 | No. 20001～20123 (123名)                          | 無し                 |
| 平成13年度入会 | No. 21001～21108 (108名)                          | No, 164～165 (2法人)  |
| 平成14年度入会 | No. 22001～22121 (121名)                          | No, 166 (1法人)      |
| 平成15年度入会 | No. 23001～22128 (欠番1、127名)                      | 無し                 |
| 平成16年度入会 | No. 24001～24118 (118名)                          | No, 167～170 (4法人)  |
| 平成17年度入会 | No. 25001～25110 (欠番1、110名)                      | No, 171 (1法人)      |
| 平成18年度入会 | No. 26001～26089 (89名)                           | 無し                 |
| 平成19年度入会 | No. 27001～27082 (82名)                           | No, 172 (1法人)      |
| 平成20年度入会 | No. 28001～28083 (再入会1、84名)                      | 無し                 |
| 平成21年度入会 | No. 29001～29054 (54名)                           | 無し                 |
|          | 計 2027名   | 計 72法人             |

### —— 退会者 ——

|         | 正・学生会員      | 賛助会員     |
|---------|-------------|----------|
| 平成9年度:  | 正・学生会員 3名   | 賛助会員 3法人 |
| 平成10年度: | 正・学生会員 8名   | 賛助会員 0法人 |
| 平成11年度: | 正・学生会員 62名  | 賛助会員 1法人 |
| 平成12年度: | 正・学生会員 81名  | 賛助会員 2法人 |
| 平成13年度: | 正・学生会員 42名  | 賛助会員 5法人 |
| 平成14年度: | 正・学生会員 61名  | 賛助会員 4法人 |
| 平成15年度: | 正・学生会員 92名  | 賛助会員 2法人 |
| 平成16年度: | 正・学生会員 102名 | 賛助会員 1法人 |
| 平成17年度: | 正・学生会員 97名  | 賛助会員 6法人 |
| 平成18年度: | 正・学生会員 61名  | 賛助会員 7法人 |
| 平成19年度: | 正・学生会員 87名  | 賛助会員 4法人 |
| 平成20年度: | 正・学生会員 116名 | 賛助会員 4法人 |
| 平成21年度: | 正・学生会員 4名   | 賛助会員 0法人 |
|         | 計 816名      | 計 39法人   |

平成20年度末の会員数

正・学生・名誉会員 1,161名 賛助会員 33法人(50口)

平成21年8月6日現在の会員数

正・学生・名誉会員 1,211名 賛助会員 33法人(50口)

|                 |         |
|-----------------|---------|
| 【内、名誉会員： 3名】    | 1口：20法人 |
| 【内、正会員： 1,092名】 | 2口：9法人  |
| 【内、学生会員： 116名】  | 3口：4法人  |

### —— 国際英文誌購読会員数 ——

平成21年8月6日現在 131名(正+賛+名誉=116名、学=15名)

## 総会・理事会・幹事会報告

### 1. 総会

- 平成20年9月21日(日) 13:00~13:40 福岡大学A棟2F203号室  
内容はニュースレター42号に掲載

### 2. 理事会

- 第41回 平成20年5月8日(木)15:00~17:30 (財)水源地環境整備センター  
内容はニュースレター40号に掲載
- 第42回 (メール会議) 平成20年8月4日(月)~8月11日(月)  
平成19年度決算、規約・細則改正、および委員会活動など
- 第43回 平成20年9月21日(日) 11:00~12:45 :福岡大学文系センター第7会議室  
第12回総会議案内容の審議、委員会報告など
- 第44回 平成20年12月9日(火) 15:30 ~ 17:30 応用生態工学会会議室  
内容はニュースレター43号に掲載
- 第45回 平成21年3月23日(月) 15:00~18:00 (財)ダム水源地環境整備センター  
内容はニュースレター44号に掲載

### 3. 幹事会

- 第33回 平成20年5月8日(木)12:30-14:30 (財)ダム水源地整備センター  
内容はニュースレター40号に掲載
- 第34回 (メール会議) 平成20年7月18日(金)~7月25日(金)  
平成19年度決算、規約・細則改正、および委員会活動など
- 第35回(拡大幹事会) 平成20年9月20日(土) 11:30~12:30 福岡大学文系センター2F第1会議室  
幹事と各委員長による委員会活動と総会議案内容の検討、委員会報告など
- 第36回 平成20年12月9日(火) 11:00~13:00 応用生態工学会会議室  
平成20年度事業活動中間報告、第13回大会報告、委員会内規についての検討
- 第37回 平成21年3月23日(月) 11:00~14:00 (財)ダム水源地環境整備センター  
委員会報告、次期役員募集・推薦委員会規程(案)、委員会内規についての検討

## 委員会報告

### 1. 会誌編集委員会

平成20年9月20日(土) 10:30-11:30 福岡大学文系センター2F第1会議室  
内容はニュースレター42号に掲載

### 2. 普及委員会

平成20年5月22日(木) 12:00~15:00 応用生態工学会会議室

内容はニュースレター41号に掲載

平成20年9月20日(土) 10:30~12:10 福岡大学文系センター2F 第2会議室

内容はニュースレター42号に掲載

### 3. 交流委員会

平成20年6月27日(木) メール会議

平成20年度海外学会等派遣応募者の審査について

平成20年9月20日(土) 10:30~11:30 福岡大学文系センター9F学部共通室B

海外派遣者募集方法、日韓合同セミナーなどについて

### 4. 情報サービス委員会

平成20年9月20日(土) 10:30-11:30 福岡大学文系センター2F第3会議室

ホームページコンテンツ充実、ホームページアクセス(関心)向上などについて

### 5. パートナーシップ委員会

平成20年9月20日(土) 10:30~11:30 福岡大学文系センター9F学部共通室A

第11回名古屋大会「パートナーシップ分科会」実施後の評価、今後の活動について

## 会誌「応用生態工学」編集報告

平成21年8月8日現在

## 1) 会誌発行状況

|        |               |                                    |
|--------|---------------|------------------------------------|
| 1巻1号:  | 平成10年11月30日発行 | 掲載論文数8本 (原著2、短報1、意見5、巻頭言、書評)       |
| 2巻1号:  | 平成11年 5月31日発行 | 特集「河川の自然復元」                        |
| 2巻2号:  | 平成11年11月19日発行 | 特集「ダム構造物の影響」                       |
| 3巻1号:  | 平成12年 7月21日発行 | 特集「日本の沿岸環境保全」                      |
| 3巻2号:  | 平成12年12月21日発行 | 特集「魚道の機能評価」                        |
| 4巻1号:  | 平成13年 7月17日発行 | ミニ特集「健全な河川とは?」                     |
| 4巻2号:  | 平成13年12月27日発行 | 掲載論文数8本 (原著6、事例研究1、意見1、巻頭言、書評)     |
| 5巻1号:  | 平成14年 8月10日発行 | 特集「長良川河口堰の影響に関するモニタリング評価」          |
| 5巻2号:  | 平成15年 2月28日発行 | 特集「河川環境の保全と復元」                     |
| 6巻1号:  | 平成15年 8月31日発行 | 特集「東アジア太平洋地域の河川復元に向けて」             |
| 6巻2号:  | 平成16年 3月31日発行 | 小特集「河川・都市における外来種問題とその対策」           |
| 7巻1号:  | 平成16年8月30日発行  | 掲載論文数10本 (原著5、事例研究2、短報1、意見2)       |
| 7巻2号:  | 平成17年1月30日発行  | 特集「標津川再生事業の概要と再蛇行化実験の評価」           |
| 8巻1号:  | 平成17年8月8日発行   | 特集「森・川・海の自然連鎖系を重視した有明海・八代海の再生」     |
| 8巻2号:  | 平成18年1月30日発行  | 特集「野生生物の生息・生育適地推定と保全計画」            |
| 9巻1号:  | 平成18年7月25日発行  | 掲載論文数7本 (原著3、事例研究3、総説1、巻頭言、書評)     |
| 9巻2号:  | 平成18年12月20日発行 | 掲載論文数7本 (原著6、事例研究1、書評)             |
| 10巻1号: | 平成19年12月10日発行 | 10周年記念特集号 特集「土木工学と生態学の壁はとりのぞかれたか?」 |
| 10巻2号: | 平成19年12月10日発行 | 掲載論文数10本 (原著8、事例研究1、総説1)           |
| -----  |               |                                    |
| 11巻1号: | 平成20年6月30日発行  | 掲載論文数10本 (原著5、事例研究4、意見1)           |
| 11巻2号: | 平成20年12月10日発行 | 掲載論文数9本 (原著4、事例研究2、総説2、意見1、書評)     |
| -----  |               |                                    |
| 12巻1号: | 平成21年7月30日発行  | 掲載論文数6本 (原著3、事例研究3、書評)             |
| 12巻2号: | 平成21年12月発行予定  |                                    |

## 2) 論文投稿状況(平成21年8月8日現在)

| 平成 年 | 総数 | 受理数 | 却下数 | 校閲中数 | (英文, 和文) |
|------|----|-----|-----|------|----------|
| 10   | 19 | 18  | 1   | 0    | (1, 17)  |
| 11   | 25 | 24  | 1   | 0    | (2, 22)  |
| 12   | 34 | 30  | 2   | 0    | (0, 34)  |
| 13   | 34 | 27  | 7   | 0    | (2, 32)  |
| 14   | 24 | 17  | 7   | 0    | (6, 18)  |
| 15   | 27 | 21  | 6   | 0    | (4, 23)  |
| 16   | 24 | 21  | 3   | 0    | (1, 23)  |
| 17   | 37 | 27  | 10  | 0    | (1, 36)  |
| 18   | 26 | 16  | 10  | 0    | (0, 26)  |
| 19   | 32 | 14  | 7   | 11   | (0, 32)  |
| 20   | 26 | 11  | 7   | 8    | (0/26)   |
| 21   | 12 | 3   | 1   | 8    | (0/12)   |

(注: 却下数にはc判定で未投稿を含む)

## 2008年度(平成20年度)事業報告

## 1. 会誌の発行

- ・応用生態工学会会誌「応用生態工学」は、(独)科学技術振興機構(JST)が運営している科学技術情報発信・流通総合システム(J-STAGE)への掲載を進めた。また、会誌編集(原稿やり取り業務の簡素化、郵送料削減)のため、原則として電子ファイルでの投稿へと変更を進めるJ-STAGE利用を開始した。
- ・会誌の発行は、年2回を継続することとし、平成20年6月30日に11巻1号:(原著5、事例研究4、意見1)と平成20年12月10日に11巻2号:(原著4、事例研究2、総説2、意見1)を発行した。

## 2. ニュースレターの発行

No.40(平成20年6月16日発行):理事会・幹事会報告、第12回福岡大会案内等

No.41(平成20年8月25日発行):理事会・幹事会報告、第12回総会資料等

No.42(平成20年12月8日発行):第12回総会報告、ELR2008福岡報告等

No.43(平成21年2月28日発行):役員会報告、行事報告、平成21年度会費納入依頼等

## 3. 主催・共催・後援行事の開催

## &lt;主催&gt;

## (1) ELR2008福岡(三学会合同大会):福岡大学:平成20年9月20~23日

- ・応用生態工学会(E&CE),日本景観生態学会(L),日本緑化工学会(R)の3学会による第1回目の合同大会を実施した。
- ・4日間のプログラムとメニューおよび実行委員体制はニュースレター41号に掲載した。
- ・2日目(9月21日(土))の午前に公開シンポジウム「自然再生の課題と展望」をテーマとして各学会による3つの基調講演とパネルディスカッションを行った。また18時より、応用生態工学若手の会による自由集会「若手研究者は環境保全事業にどの様に関わっていくべきか?」が実施された。
- ・3日目(9月22日(日))は矢作川関連の企画とし、午前に「パートナーシップ分科会」、午後に「エクスカージョン」を行った。
- ・4日目(9月23日(月))は自然再生事業・アザメの瀬と石井樋を見学するコースと、さらに一泊して六角川河口堰や住之江公園,干潟よか公園,福岡市内小学校の学校ビオトープを見学する2コースを企画し実施した。

## (2) 応用生態工学大阪 近畿現地ワークショップin琵琶湖:平成20年5月16~17日

テーマ:一現地で応用!生態工学「琵琶湖源流域の自然と文化を訪ねて」一

## (3) 応用生態工学会 東京 第2回勉強会 :平成20年6月3日

テーマ:市民一研究者連携による外来植物の管理・モニタリング

## (4) 応用生態工学会 札幌 セミナー:平成20年8月26日

テーマ:本来の川を取り戻すために... その4『型を取った“多自然川づくり”水理模型実験&講演会  
共催:(独)土木研究所 寒地土木研究所

- (5) 応用生態工学会 金沢 第7回北陸現地ワークショップin能登：平成20年10月30～31日  
 テーマ：「能登の風土」～日本の原風景を守ろう～
- (6) 応用生態工学会 仙台 第4回東北現地ワークショップin弘前：平成20年11月8～9日  
 テーマ：流域の自然再生を考える  
 共催：日本生態学会東北地区会
- (7) 応用生態工学会 東京 第3回勉強会：平成20年11月9日  
 テーマ：多摩川のつる植物の繁茂とその対策を考える現地見学会
- (8) 応用生態工学会 東京 第4回勉強会：平成20年11月21日  
 テーマ：植生を巡る最近の話題（外来種と景観問題、地球温暖化と植生等）

#### <共催>

- 「環境とダムの共存に関する国際シンポジウム」：平成20年10月19～24日  
 共催：(社)日本大ダム会議、韓国大ダム会議、中国大ダム会議 水文・水資源学会、ダム工学会

#### <後援>

- (1) G8 環境大臣会合開催記念シンポジウム：平成20年4月26～27日  
 アジアからの発信 人と自然の共生のみちをさぐる：環境省、兵庫県立人と自然の博物館
- (2) 第11回水源地生態研究セミナー：平成20年9月22日  
 環境とダムの共存：(財)ダム水源地環境整備センター

#### 4. 国際交流：海外学会派遣と日韓合同セミナー(交流委員会)

- (1) 平成20年度海外学会派遣研究者・技術者として、下記の派遣先に各々1名を派遣することになり、各々に10万円助成することが認められた  
 〈派遣先〉世界閉鎖性海域環境保全会議(EMECS)  
 期間：2008/10/27～30 場所：中国 上海  
 派遣研究者：杉本憲司(財団法人広島県環境保健協会)
- 〈派遣先〉Third Interagency Conference on Research in the Watershed  
 期間：2008/9/8～11 場所：アメリカ合衆国コロラド州エステスパーク  
 派遣研究者：林博徳(九州大学)
- (2) 日韓合同セミナーは2008年度で最後となるため、これまでの活動を総括してLEEに特集号を提出する。今後は日韓が中心となり、他のアジアの国々も巻き込んで発展させていくとの方針が確認された。

## 第1号議案

### 平成20年度決算報告

#### 1. 決算について

決算報告として、(1)「平成20年度収支報告書」、(2)「貸借対照表」、(3)「財産目録」および(4)「平成18年度以降の決算経過総括表」として決算の概要を示した。

全般として、収入と支出ともに予算に対して増であった。収入増約40万円（会費△95万円＋雑収入△20万円－事業収入他155万円）に対し、支出増約110万円（管理費△20万円＋事業費90万円＋雑支出他40万円）であったため、当期収支均衡の予算が、728,083円減少し、次年度への繰越額は、21,840,804円となった。

平成20年度の賛助会員会費（総収入の約25%）は、会員数・口数の減少傾向が続いており、賛助を含む会員に対するメリットの増加となる、より魅力的な活動を検討する必要がある。

以下、収支において主要・重要事項について報告する。

#### 2. 収入について

##### (1) 会費収入

会員からの年会費の収入については、平成20年度は10,558,655円となり、予算額11,520,000円に対して約100万円の減収となった。正会員についてはほぼ予算に近い約550万円の収入を得たが、賛助会員と学生会員からの収入が少なかった。賛助会員については当該年度納入のためである。学生会員については、卒業後にも継続して会員を続けてもらえるようなフォローに努めていく。

##### (2) 助成金収入（河川整備基金および地域活動における協賛金）

- ①平成20年度河川整備基金 220万円  
（事業名：「環境関係三学会合同シンポジウム『自然再生をさらにいかに進化させるか(仮称)』」）
- ②（社）北陸建設弘済会助成金 15万円  
（事業名：「第7回北陸現地ワークショップ in 能登『「能登の風土」～日本の原風景を守ろう～』」）
- ③石川県治水協会 10万円  
（事業名：「第7回北陸現地ワークショップ in 能登『「能登の風土」～日本の原風景を守ろう～』」）
- ④東北環境アセスメント協会 13万円  
（事業名：「第4回東北現地ワークショップ in 弘前『流域の自然再生を考える』」）

以上、4件総計258万円の助成が得られた。

### 3. 支出について

#### (1) 地域の講座

各地域の平成 20 年度（単年度）の収支は、以下の通りである。

表 6.1 平成 20 年度 地域口座収支

| 講座 | 地域名 | 収入      | 助成金     | 収入合計    | 支出      | 収支差額    |
|----|-----|---------|---------|---------|---------|---------|
| 1  | 札幌  | 450,000 | 0       | 450,000 | 252,255 | 197,745 |
| 2  | 仙台  | 160,500 | 130,000 | 290,500 | 359,876 | △69,376 |
| 3  | 東京  | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       |
| 4  | 金沢  | 355,700 | 250,000 | 605,700 | 552,885 | 53,815  |
| 5  | 大阪  | 299,000 | 0       | 299,000 | 293,143 | 5,857   |
| 6  | 広島  | 55,000  | 0       | 55,000  | 46,748  | 8,252   |

#### (2) 大会経費

大会経費については、以下の通りである。

表 6.2 平成 20 年度 大会経費収支

| 区分 |                  | 金額        | 合計金額      |
|----|------------------|-----------|-----------|
| 収入 | 発表会参加費           | 3,337,000 | 5,537,000 |
|    | 助成金              | 2,200,000 |           |
| 支出 | 発表会              | 2,638,706 | 4,893,667 |
|    | 公開シンポ + エクスカージョン | 2,254,961 |           |
|    |                  | 収支差額      | 643,333   |

### 4. 収支について

平成 20 年度（2008 年 4 月 1 日から 2009 年 3 月 31 日）の収支については、

|      |     |  |
|------|-----|--|
| ①当年度 | 総収入 | 19,992,005 円（当会 18,564,555 円 + LEE1,427,450 円） |
|      | 総支出 | 20,720,088 円（当会 19,593,438 円 + LEE1,126,650 円） |

となり、前年度からの繰越金 22,568,887 円を加えて、

|             |              |
|-------------|--------------|
| ②次年度への繰越金は、 | 21,840,804 円 |
|-------------|--------------|

で、この繰越金は、782,804 円減少している。

なお、賛助会員会費の入金状況を平成 9 年度（会の発足）以来について示すと、下表のとおり減少傾向が顕著に出てきている。なお、請求遅れによる平成 19 年度の減収は平成 20 年度に入金(580 万円)いただいている。

表 6.3 賛助会員会費入金状況（平成21年度は8月末時点）

| 平成 年度 | 入金額(円)     | 会員 ((口数) | 平成 年度          | 入金額(円)           | 会員 ((口数) |
|-------|------------|----------|----------------|------------------|----------|
| 9     | 10,200,000 | 55 (81)  | 1 6            | 8,798,950        | 53 (81)  |
| 1 0   | 7,700,000  | 57 (82)  | 1 7            | 7,500,000        | 53 (81)  |
| 1 1   | 12,900,000 | 60 (87)  | 1 8            | 7,000,000        | 46 (69)  |
| 1 2   | 8,900,000  | 60 (87)  | 1 9 遅延分        | 6,100,000        | 41 (61)  |
| 1 3   | 9,000,000  | 60 (87)  | 2 0 年度分        | 5,200,000        | 36 (57)  |
| 1 4   | 7,600,000  | 55 (82)  | <b>2 1 年度分</b> | <b>4,400,000</b> | 33 (50)  |
| 1 5   | 8,299,160  | 51 (77)  |                |                  |          |

(1) 平成20年度 正味財産計算書

(自平成20年(2008年)4月1日 至平成21年(2009年)3月31日)

収入の部

(単位=円)

| 科 目                     | 平成20年度<br>予 算 額<br>(A) | 平成20年度<br>実 績 額<br>(B) | 増減の対比<br>(A) - (B) | 備 考 |
|-------------------------|------------------------|------------------------|--------------------|-----|
| <b>1. 会 費 収 入</b>       | <b>11,520,000</b>      | <b>10,558,655</b>      | <b>961,345</b>     |     |
| (1) 正 会 員 会 費           | 5,500,000              | 5,516,655              | △ 16,655           |     |
| (2) 学 生 会 員 会 費         | 220,000                | 142,000                | 78,000             |     |
| (3) 賛 助 会 員 会 費         | 5,800,000              | 4,900,000              | 900,000            |     |
| <b>2. 雑 収 入</b>         | <b>500,000</b>         | <b>294,176</b>         | <b>205,824</b>     |     |
| (1) 会 誌 編 集 収 入         | 298,000                | 281,976                | 16,024             |     |
| (2) 広 告 収 入             | 200,000                | 0                      | 200,000            |     |
| (3) 受 取 利 息 等           | 2,000                  | 12,200                 | △ 10,200           |     |
| <b>3. 事 業 収 入</b>       | <b>4,200,000</b>       | <b>5,131,724</b>       | <b>△ 931,724</b>   |     |
| (1) 講 座 1 参 加 費         | 350,000                | 450,000                | △ 100,000          | 札幌  |
| (2) 講 座 2 参 加 費         | 350,000                | 160,500                | 189,500            | 仙台  |
| (3) 講 座 3 参 加 費         | 350,000                | 0                      | 350,000            | 東京  |
| (4) 講 座 4 参 加 費         | 350,000                | 355,700                | △ 5,700            | 金沢  |
| (5) 講 座 5 参 加 費         | 350,000                | 299,000                | 51,000             | 大阪  |
| (6) 講 座 6 参 加 費         | 250,000                | 55,000                 | 195,000            | 広島  |
| (7) 研 究 発 表 会 参 加 費     | 1,800,000              | 3,337,000              | △ 1,537,000        |     |
| (8) 会 誌 団 体 購 読 収 入     | 200,000                | 210,000                | △ 10,000           |     |
| (9) 会 誌 等 販 売           | 200,000                | 241,024                | △ 41,024           |     |
| (10) そ の 他 事 業 収 入      | 0                      | 23,500                 | △ 23,500           |     |
| <b>4. 英 文 誌 関 連 収 入</b> | <b>1,199,800</b>       | <b>1,427,450</b>       | <b>△ 227,650</b>   |     |
| (1) LEE 購 読 料           | 919,800                | 867,450                | 52,350             |     |
| (2) LEE 広 告 掲 載 収 入     | 280,000                | 560,000                | △ 280,000          |     |
| <b>5. 助 成 金 収 入</b>     | <b>2,200,000</b>       | <b>2,580,000</b>       | <b>△ 380,000</b>   |     |
| (1) 河 川 整 備 基 金 収 入     | 2,000,000              | 2,200,000              | △ 200,000          |     |
| (2) 助 成 金 収 入           | 200,000                | 380,000                | △ 180,000          |     |
| 当 期 収 入 合 計             | 19,619,800             | 19,992,005             | △ 372,205          |     |
| 前 期 繰 越 収 支 差 額         | 22,568,887             | 22,568,887             | 0                  |     |
| 収 入 合 計                 | 42,188,687             | 42,560,892             | △ 372,205          |     |

支出の部 1.

(単位=円)

| 科 目                 | 平成20年度<br>予 算 額<br>(A) | 平成20年度<br>実 績 額<br>(B) | 増減の対比<br>(A) - (B) | 備 考      |
|---------------------|------------------------|------------------------|--------------------|----------|
| <b>1. 管 理 費</b>     | <b>4,740,000</b>       | <b>4,558,410</b>       | <b>181,590</b>     |          |
| (1) 家賃・水道光熱費        | 1,680,000              | 1,532,425              | 147,575            |          |
| (2) リース料            | 450,000                | 570,780                | △ 120,780          |          |
| (3) 通 信 費           | 280,000                | 289,531                | △ 9,531            |          |
| (4) 旅 費 交 通 費       | 350,000                | 387,980                | △ 37,980           |          |
| (5) 文 具 消 耗 品 費     | 250,000                | 13,828                 | 236,172            |          |
| (6) 事 務 局 給 与       | 810,000                | 741,754                | 68,246             |          |
| (7) 顧 問 料           | 405,000                | 493,500                | △ 88,500           |          |
| (8) 支 払 手 数 料       | 25,000                 | 19,604                 | 5,396              |          |
| (9) 函 書 費 ・ 会 費     | 50,000                 | 0                      | 50,000             |          |
| (10) 租 税 公 課        | 70,000                 | 72,432                 | △ 2,432            |          |
| (11) 減 価 償 却 費      | 0                      | 129,367                | △ 129,367          |          |
| (12) 雑 費            | 370,000                | 307,209                | 62,791             |          |
| <b>2. 事 業 費</b>     | <b>13,650,000</b>      | <b>14,564,628</b>      | <b>△ 914,628</b>   |          |
| イ. 会 誌 編 集 費        | 5,600,000              | 4,861,330              | 738,670            |          |
| (1) 会 誌 編 集 費       | 4,800,000              | 4,149,842              | 650,158            |          |
| (2) ニュースライター編集費     | 800,000                | 711,488                | 88,512             |          |
| ロ. 会 員 募 集 費        | 50,000                 | 39,780                 | 10,220             |          |
| (1) 通 信 費           | 20,000                 | 9,780                  | 10,220             |          |
| (2) 印 刷 費           | 30,000                 | 30,000                 | 0                  |          |
| ハ. 会 議 費            | 1,200,000              | 1,802,198              | △ 602,198          |          |
| (1) 総 会 費           | 50,000                 | 88,975                 | △ 38,975           |          |
| (2) 理 事 会 費         | 650,000                | 801,805                | △ 151,805          |          |
| (3) 幹 事 会 費         | 500,000                | 911,418                | △ 411,418          |          |
| ニ. 委 員 会 活 動 費      | 1,000,000              | 1,462,746              | △ 462,746          |          |
| (1) 委 員 会 関 係 費     | 700,000                | 1,262,746              | △ 562,746          |          |
| (2) 海 外 派 遣 費       | 300,000                | 200,000                | 100,000            |          |
| ホ. 大 会 費            | 3,800,000              | 4,893,667              | △ 1,093,667        |          |
| (1) 公 開 シ ン ポ ジ ウ ム | 2,000,000              | 2,254,961              | △ 254,961          | 河川整備基金充当 |
| (2) 研 究 発 表 会       | 1,800,000              | 2,638,706              | △ 838,706          |          |

| 科 目              | 平成20年度<br>予 算 額<br>(A) | 平成20年度<br>実 績 額<br>(B) | 増減の対比<br>(A) - (B) | 備 考 |
|------------------|------------------------|------------------------|--------------------|-----|
| へ. 講座実施費         | 2,000,000              | 1,504,907              | 495,093            |     |
| (1) 講座1費用        | 350,000                | 252,255                | 97,745             | 札幌  |
| (2) 講座2費用        | 350,000                | 359,876                | △ 9,876            | 仙台  |
| (3) 講座3費用        | 350,000                | 0                      | 350,000            | 東京  |
| (4) 講座4費用        | 350,000                | 552,885                | △ 202,885          | 金沢  |
| (5) 講座5費用        | 350,000                | 293,143                | 56,857             | 大阪  |
| (6) 講座6費用        | 250,000                | 46,748                 | 203,252            | 広島  |
| <b>3. 英文誌関連費</b> | <b>1,069,800</b>       | <b>1,126,650</b>       | <b>△ 56,850</b>    |     |
| (1) 英文誌購読料       | 919,800                | 976,650                | △ 56,850           |     |
| (2) ICLEE事務局維持費  | 150,000                | 150,000                | 0                  |     |
| <b>4. 雑支出</b>    | <b>160,000</b>         | <b>470,400</b>         | <b>△ 310,400</b>   |     |
| <b>5. 予備費</b>    | <b>22,568,887</b>      | <b>0</b>               | <b>22,568,887</b>  |     |
| 当期支出合計           | 42,188,687             | 20,720,088             | 21,468,599         |     |
| 当期収支差額           | △ 22,568,887           | △ 728,083              | △ 21,840,804       |     |
| 次期繰越収支差額         | 0                      | 21,840,804             | △ 21,840,804       |     |

注. 次期繰越収支差額の内訳は、次のとおりである。

(単位=円)

| 科 目      | 前期末残高      | 当期末残高      |
|----------|------------|------------|
| 現金預金     | 20,578,387 | 19,929,259 |
| 未収入金     | 2,000,000  | 2,200,000  |
| 計        | 22,578,387 | 22,129,259 |
| 預り金      | 9,500      | 25,108     |
| 計        | 9,500      | 25,108     |
| 次期繰越収支差額 | 22,568,887 | 21,840,804 |
| 当期収支差額   |            | △ 728,083  |

## (2) 貸借対照表

(平成21年3月31日現在)

(単位=円)

| 資 産 の 部       |                   | 負 債 の 部         |                   |
|---------------|-------------------|-----------------|-------------------|
| 科 目           | 金 額               | 科 目             | 金 額               |
| <b>【流動資産】</b> | <b>22,465,679</b> | <b>【流動負債】</b>   | <b>25,108</b>     |
| 現 金           | 230,081           | 預 り 金           | 25,108            |
| 普 通 預 金       | 8,055,759         | 負 債 合 計         | 25,108            |
| 振 替 貯 金       | 6,643,419         |                 |                   |
| 定 額 預 金       | 5,000,000         |                 |                   |
| 未 収 入 金       | 2,200,000         |                 |                   |
| 前 払 費 用       | 336,420           |                 |                   |
| <b>【固定資産】</b> | <b>1,764,362</b>  |                 |                   |
| 什 器 ・ 備 品     | 165,992           |                 |                   |
| 電 話 加 入 権     | 76,440            |                 |                   |
| 商 標 権         | 1,281,930         |                 |                   |
| 敷 金           | 240,000           |                 |                   |
|               |                   | 正 味 財 産 の 部     |                   |
|               |                   | <b>【正味財産】</b>   | <b>24,204,933</b> |
|               |                   | 正 味 財 産         | 24,204,933        |
|               |                   | (うち正味財産増加額)     | △ 728,083         |
|               |                   | 正味財産の部合計        | 24,204,933        |
| 資 産 合 計       | 24,230,041        | 負 債 及 び 財 産 合 計 | 24,230,041        |

## (3) 財産目録

(平成21年3月31日現在)

## 資産の部

(単位=円)

| 科 目       | 摘 要                  | 金 額               |
|-----------|----------------------|-------------------|
| 現 金       |                      | 230,081           |
| 普通預金(事務局) | 三菱東京UFJ銀行 麴町中央支店     | 5,364,525         |
| 同(札幌)     | 北洋銀行 北七条支店           | 319,792           |
| 同(金沢)     | 北國銀行 金沢中央支店          | 84,101            |
| 同(名古屋)    | 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店       | 689,835           |
| 同(大阪)     | みずほ銀行 天満橋支店          | 359,862           |
| 同(福岡)     | 福岡銀行 渡辺通支店           | 1,237,644         |
|           | 普通預金計 (              | 5,768,418 )       |
| 振替貯金      | (事務局) 00140-7-404275 | 6,641,919         |
| 同(仙台)     | (仙台) 02280-8-92496   | 500               |
| 通常預金      | (事務局) 89535861       | 1,000             |
|           | 郵便貯金計 (              | 6,643,419 )       |
| 定額預金      | ¥1,000,000-×5口       | 5,000,000         |
|           | 定額預金計 (              | 5,000,000 )       |
| 未収入金      | 河川整備基金               | 2,200,000         |
|           | 未収入金計 (              | 2,200,000 )       |
| 前払費用      | 来年度会場費               | 336,420           |
| 什器・備品     | パソコン2台               | 165,992           |
| 電話加入権     | 事務局電話                | 76,440            |
| 商標権       | 商 標                  | 1,281,930         |
| 敷 金       | 三輪 雅男(麴町ロイヤルビル405)   | 240,000           |
| 資 産 合 計   |                      | <b>21,942,700</b> |

## 負債の部

| 科 目         | 摘 要   | 金 額               |
|-------------|-------|-------------------|
| 預 り 金       | 源泉所得税 | 25,108            |
| 負 債 合 計     |       | <b>25,108</b>     |
| 差 引 正 味 財 産 |       | <b>21,917,592</b> |

(4) 平成18年度以降の決算経過総括表

「助成金」は河川整備基金の助成金およびその対象の支出を示す。

|                    |         | 【総収入】      | 【総支出】      | 【収支差額】       | 【繰越】       |
|--------------------|---------|------------|------------|--------------|------------|
| <b>X. 平成18年度</b>   |         |            |            |              |            |
| (予算)               | (一般)    | 17,250,000 | 17,821,000 |              |            |
|                    | (助成金)   | 2,200,000  | 2,200,000  |              |            |
|                    | 単年度計    | 19,450,000 | 20,021,000 | -571,000     |            |
|                    | (繰越)    | 17,960,191 | 0          |              |            |
|                    | (英文誌特別) | 1,077,650  | 1,104,450  |              |            |
|                    | (計)     | 38,487,841 | 21,125,450 |              | 17,362,391 |
| <b>(決算)</b>        |         |            |            |              |            |
|                    | (一般)    | 15,321,100 | 15,498,046 |              |            |
|                    | (助成金)   | 2,300,000  | 2,300,000  |              |            |
|                    | (敷金戻り)  | 1,000,000  |            |              |            |
|                    | 単年度計    | 18,621,100 | 17,798,046 | 823,054      |            |
|                    | (繰越)    | 17,960,191 | 0          |              |            |
|                    | (英文誌特別) | 1,293,250  | 1,082,925  |              |            |
|                    | (計)     | 37,874,541 | 18,880,971 | (平成19年度への繰越) | 18,993,570 |
| <b>XI. 平成19年度</b>  |         |            |            |              |            |
| (予算)               | (一般)    | 19,265,000 | 18,240,680 |              |            |
|                    | (助成金)   | 2,100,000  | 2,100,000  |              |            |
|                    | 単年度計    | 21,365,000 | 20,340,680 | 1,024,320    |            |
|                    | (繰越)    | 18,993,570 | 0          |              |            |
|                    | (英文誌特別) | 1,065,600  | 1,065,600  |              |            |
|                    | (計)     | 41,424,170 | 21,406,280 |              | 20,017,890 |
| <b>(決算)</b>        |         |            |            |              |            |
|                    | (一般)    | 17,404,626 | 13,574,684 |              |            |
|                    | (助成金)   | 2,150,000  | 2,150,000  |              |            |
|                    | (敷金)    |            | 240,000    |              |            |
|                    | 単年度計    | 19,554,626 | 15,964,684 | 3,589,942    |            |
|                    | (繰越)    | 18,993,570 | 0          |              |            |
|                    | (英文誌特別) | 1,056,750  | 1,071,375  |              |            |
|                    | (計)     | 39,604,946 | 17,036,059 | (平成20年度への繰越) | 22,568,887 |
| <b>XII. 平成20年度</b> |         |            |            |              |            |
| (予算)               | (一般)    | 16,220,000 | 16,350,000 |              |            |
|                    | (助成金)   | 2,200,000  | 2,200,000  |              |            |
|                    | 単年度計    | 18,420,000 | 18,550,000 | -130,000     |            |
|                    | (繰越)    | 22,568,887 | 0          |              |            |
|                    | (英文誌特別) | 1,199,800  | 1,069,800  |              |            |
|                    | (計)     | 42,188,687 | 19,619,800 |              | 22,568,887 |
| <b>(決算)</b>        |         |            |            |              |            |
|                    | (一般)    | 15,984,555 | 17,013,438 |              |            |
|                    | (助成金)   | 2,580,000  | 2,580,000  |              |            |
|                    | 単年度計    | 18,564,555 | 19,593,438 | -1,028,883   |            |
|                    | (繰越)    | 22,568,887 | 0          |              |            |
|                    | (英文誌特別) | 1,427,450  | 1,126,650  |              |            |
|                    | (計)     | 42,560,892 | 20,720,088 | (平成21年度への繰越) | 21,840,804 |

# 監査報告書

規約第13条により、平成20年度（2008年度）決算報告書について関係帳簿及び証拠書類と対照監査した結果、正確であることを認めます。

平成21年8月24日

監事 中村哲己 

監事 小塚光 

## 2009 年度（平成 21 年度）事業実施状況・収支見込みについて

2009 年度（平成 21 年度）の事業計画、及び平成 21 年度予算に対する現時点での見込み（変更要素）について、以下に示す。

### 2009 年度（平成 21 年度）事業計画

#### 1. 会誌の発行

12 巻 1 号(平成 21 年 7 月 30 日発行)

12 巻 2 号(平成 21 年 12 月発行予定)

#### 2. ニュースレターの発行

No.44（平成 21 年 5 月 31 日発行）：第 13 回大会案内、次期役員候補募集等

No.45（平成 21 年 8 月 28 日発行）：大会プログラムを同封

No.46（平成 21 年 12 月発行予定）：大会報告、行事報告等

No.47（平成 22 年 2 月発行予定）：行事報告、会費納入依頼等

#### 3. ワークショップ等の開催

<方針>

普及委員会行事と限定せず、地域研究会および各委員会の積極的な活動により普及および研修の企画を立て実施する。

また、後援に関しては応用生態工学研究および普及に資する行事であれば、学会名の周知の機会でもあるので名義使用を許可し、広報等に協力する。

#### ● 主催・共催行事

①応用生態工学会 東京 第 7 回勉強会

「空から環境を測るーリモートセンシング技術の活用ー」 6/5

②応用生態工学会 東京 第 8 回勉強会

「新・名水百選 東京・落合川の保全に関する現地勉強会」 6/28

③（共催）オープンフォーラム 第 2 回 流域圏と生物多様性、「伊勢湾流域圏の自然共生型環境管理技術開発」研究プロジェクト 7/29（名古屋市：名古屋大学シンポジオン）

④（共催）オープンフォーラム 第 3 回 流域圏と生物多様性、「伊勢湾流域圏の自然共生型環境管理技術開発」研究プロジェクト 8/4（名古屋市：東建ホール・丸の内）

⑤応用生態工学会 札幌 ワークショップ「多自然川づくりが目指す河岸・河床」 8/17-18

⑥応用生態工学会 広島 第 3 回ワークショップ 江田島湾再生協議会ジョイントシンポジウム ～太田川-広島湾流域圏の自然再生を考える～ 8/21-22

⑦応用生態工学会 福井 第 8 回北陸現地ワークショップ in 福井

「九頭竜川流域の多様性 ～つながりの保全・再生をめざして～」 10/30-31

⑧応用生態工学会 松山 勉強会：重信川の自然再生 10 月開催予定

⑨応用生態工学会 名古屋 矢作川フィールドシンポジウム 持続性を目指す流域圏 ～砂河川“矢作川”での取り組み～ 11.20-21

⑩応用生態工学会 大阪 第 2 回近畿 WS in 加古川 現地で応用！生態工学 「河川・流域の管理と連携 ～河川、ため池、播磨灘につながる水圏ネットワーク～」 11/28

⑪応用生態工学会 福岡 2009ー九州の応用生態工学の事例と研究ー 11 月開催予定

## ● 後援行事

- ① 日本生態学会自然再生講習会 第1回「あなたにもできる自然再生：生態学の視点から」  
(文京区：東京大学農学部) 8/1
- ② 第12回水源地生態研究セミナー(千代田区永田町：(財)ダム水源地環境整備センター)  
9/28

## 4. 公開シンポジウムの開催

本年度は9月25～28日に、埼玉会館において、応用生態工学会第13回大会を開催し、9月26日に「応用生態工学のフロンティア—新技術の開発と持続的な発展—」をテーマに公開シンポジウムを実施する。

開催にあたって河川整備基金を「河川環境の再生、河川の生物多様性保全のための先端技術の導入に関する事業」として申請し、平成21年3月16日に180万円の助成が決定された。

シンポジウムでは、新技術についての講演、パネルディスカッションを実施する。

## 5. 委員会等の活動

### (1) 会誌編集委員会：学会誌過去掲載論文の電子化

会誌「応用生態工学」については、(独)科学技術振興機構(JST)が運営するJ-STAGEにより第1号から過去2年前までの会誌を一般に公開し、会員には最新号までを閲覧できるよう整備した。また、J-STAGEによる論文投稿審査システムを7月1日より開始した。

### (2) 普及委員会：地域WSの開催、全国フィールドワークショップ(仮称)の企画

資料-1(一般経過報告)に示したように、各地域で活発にワークショップを実施した。また、昨年度委員会にて実施を決定した、各委員・地域責任者が一堂に集まる「フィールドワークショップ」を毎年1回企画することとし、本年度は、名古屋で矢作川を対象とした「持続性を目指す流域圏～砂河川“矢作川”での取り組み～」を11月20日(金)～11月21日(土)に実施する。

### (3) 交流委員会：国際交流・海外学会等への派遣

平成21年5月に、担当幹事を含め交流委員から応用生態工学に関連のある派遣先として相応しい会議・学会などの情報が提供され、その情報を添えてニュースレターNo.44、ホームページ、ece-m1により募集を行った。2件の応募があり、うち口頭発表を予定する1名の派遣を決定した。なお、この派遣事業は2000年から実施を始め今回で10ヶ年を経過した。

埼玉大会期間中の9月27日(日)に、交流委員会主催の分科会：国際セッション(英語)を企画した。

### (4) 情報サービス委員会：HPの充実

ホームページコンテンツ充実のため、若手の会の独自ホームページへのリンクや学会関連情報の更新を行なった。また、会誌の公開、論文投稿審査システムの運用に併せ、学会HPからのリンクを行った。

### (5) パートナーシップ委員会

埼玉大会において分科会「保全のための放流」を企画し実施した。パートナーシップ委員会の役割は、普及委員会により担うこととなるが、これまでの活動や「川の日ワークショップ」等の各地域の活動団体との連携も視野に入れて、普及委員会にてパートナーシッ

プの構築を押し進めていきたい。

**(6) 応用生態工学会COP10 対応ワーキンググループ**

2010年（平成22年）10月に名古屋で開催される「生物多様性条約 第10回締約国会議（COP10）」に向けて、応用生態工学会としての提言について検討を進めている。その方向性は、「生態系を支える水・物質循環の視点で流域圏を念頭に考えるべきもの、名古屋では伊勢湾流域圏のスケールのものの方が重要である」という認識を基礎に、これまで2回のワーキングを行い、埼玉大会においては、9月25日に自由集会を開催した。今後は、ワーキングを重ねながら、国際シンポジウム（2010年3月予定）を開催する予定である。

**(7) 将来構想委員会**

学会の発展に向け、平成20年度は、①各委員会の現状と今後の方向性を踏まえた統廃合・スリム化の検討、②各委員会規程の整備について検討を行った。討議の結果、パートナーシップ委員会の役割は普及委員会で担っていくこと、会誌編集委員会・情報委員会のスリム化を行うことが決定された。各委員会規程については、第7期役員会で引き続き検討する。

(参 考)

2009 年度（平成 21 年度）予算に対する現時点の収支見込み

1. 当期収入見込み

- (1) 一般会計のうち、河川整備基金助成事業申請が受理された。当期予算より 20 万円減の 180 万円の助成となった。
- (2) 第 8 回水科学・水工学に関する国際会議実行委員会より、「第 8 回水科学・水工学に関する国際会議（ICHE2008）」開催時の収益のうち、200 万円を寄付金として頂いた。

2. 当期支出見込み

第 47 回理事会（平成 21 年 5 月 11 日）において、設置し検討していくこととなった COP10 対応ワーキンググループの委員会活動費、および普及委員会の全国フィールドワークショップ（仮称）に係わる活動費として、委員会活動費が 100 万円程度増の 200 万円と見込まれる。

3. 平成 21 年度予算の現時点での収支見込み（下表参照）

表 8.1 平成 21 年度予算 収支見込み

（自平成 21 年（2009 年）4 月 1 日 至平成 22 年 3 月 31 日）

| 当期収入        |                   |        | 当期支出        |                   |                               |
|-------------|-------------------|--------|-------------|-------------------|-------------------------------|
| <b>一般会計</b> |                   |        | <b>一般会計</b> |                   |                               |
| 会費収入        | 11,520,000        |        | 管理費         | 4,740,000         |                               |
| 雑収入         | 500,000           |        | 事業費(一般活動費)  | 12,710,000        |                               |
| 事業収入        | 4,200,000         |        | 会誌編集        | 4,800,000         |                               |
| 研究発表会       | 1,800,000         |        | ニュースレター編集   | 800,000           |                               |
| 講座・会誌販売他    | 2,400,000         |        | 会員募集費       | 50,000            |                               |
| 助成金収入       | 2,000,000         |        | 会議費         | 1,200,000         |                               |
| 河川整備基金      | 1,800,000         | ▲20万   | 委員会活動費      | 2,000,000         | 100万円増<br>(COP10WG,<br>普及委員会) |
| 北陸(講座)      | 200,000           |        | 研究発表会       | 1,800,000         |                               |
|             | 0                 |        | 公開シンポジウム    | 2,000,000         |                               |
|             |                   |        | その他         | 60,000            |                               |
|             |                   |        | その他事業(講座他)  | 2,000,000         |                               |
|             |                   |        | HP整備        | 100,000           |                               |
| <b>計</b>    | <b>18,220,000</b> |        | <b>計</b>    | <b>19,550,000</b> |                               |
| <b>特別会計</b> |                   |        | <b>特別会計</b> |                   |                               |
| 英文誌購読料      | 919,800           |        | 購読料         | 919,800           |                               |
| 英文誌広告掲載費    | 280,000           |        | 事務局維持経費     | 150,000           |                               |
| 寄付金(※1)     | 2,000,000         | 寄付金受領  |             |                   |                               |
| <b>計</b>    | <b>3,199,800</b>  |        | <b>計</b>    | <b>1,069,800</b>  |                               |
| <b>全体</b>   |                   |        | <b>全体</b>   |                   |                               |
| 当期実収入計      | 21,419,800        | 180万円増 | 当期実支出計      | 20,619,800        |                               |
| 前期からの繰越金    | 22,568,887        |        | 次期への繰越金(予算) | 23,368,887        |                               |

※1:「第8回水科学・水工学に関する国際会議(ICHE2008)」開催に伴う寄付金

表 8.2 平成 21 年度予算（現時点での差異と平成 20 年度決算との比較）

| 収入            |  | 平成21年度予算<br>(現時点での差異) |               | 平成21年度予算<br>(2008年総会決議) | 平成20年度決算          |
|---------------|--|-----------------------|---------------|-------------------------|-------------------|
| <b>一般会計</b>   |  |                       |               |                         |                   |
| 会費収入          |  | 11,520,000            |               | 11,520,000              | 10,558,655        |
| 雑収入           |  | 500,000               |               | 500,000                 | 294,176           |
| 事業収入          |  | 4,200,000             |               | 4,200,000               | 5,131,724         |
| 研究発表会         |  | 1,800,000             |               | 1,800,000               | 3,337,000         |
| 講座・会誌販売他      |  | 2,400,000             |               | 2,400,000               | 1,794,724         |
| 助成金収入         |  | 2,000,000             |               | 2,200,000               | 2,580,000         |
| 河川整備基金        |  | 1,800,000             | ▲助成金減         | 2,000,000               | 2,200,000         |
| 北陸(講座)        |  | 200,000               |               | 200,000                 | 380,000           |
| <b>一般会計 計</b> |  | <b>18,220,000</b>     |               | <b>18,420,000</b>       | <b>18,564,555</b> |
| <b>特別会計</b>   |  |                       |               |                         |                   |
| 英文誌購読料        |  | 919,800               |               | 919,800                 | 867,450           |
| 英文誌広告掲載費      |  | 280,000               |               | 280,000                 | 560,000           |
| 寄付金(※1)       |  | 2,000,000             | 寄付金受領         |                         |                   |
| <b>特別会計 計</b> |  | <b>3,199,800</b>      |               | <b>1,199,800</b>        | <b>1,427,450</b>  |
| <b>収入合計</b>   |  | <b>21,419,800</b>     | <b>+180万円</b> | <b>19,619,800</b>       | <b>19,992,005</b> |

※1:「第8回水科学・水工学に関する国際会議(ICHE2008)」開催に伴う寄付金

| 支出              |  | 平成21年度予算<br>(現時点での差異) |                            | 平成21年度予算<br>(2008年総会決議) | 平成20年度決算          |
|-----------------|--|-----------------------|----------------------------|-------------------------|-------------------|
| <b>一般会計</b>     |  |                       |                            |                         |                   |
| 管理費             |  | 4,740,000             |                            | 4,740,000               | 4,558,410         |
| 事業費(一般活動費)      |  | 12,710,000            |                            | 11,710,000              | 13,059,721        |
| 会誌編集            |  | 4,800,000             |                            | 4,800,000               | 4,149,842         |
| ニュースレター編集       |  | 800,000               |                            | 800,000                 | 711,488           |
| 会員募集費           |  | 50,000                |                            | 50,000                  | 39,780            |
| 会議費             |  | 1,200,000             |                            | 1,200,000               | 1,802,198         |
| 委員会活動費          |  | 2,000,000             | COP10WG<br>設置、普及委<br>員会予算増 | 1,000,000               | 1,462,746         |
| 研究発表会           |  | 1,800,000             |                            | 1,800,000               | 2,638,706         |
| 公開シンポジウム        |  | 2,000,000             |                            | 2,000,000               | 2,254,961         |
| その他             |  | 60,000                |                            | 60,000                  |                   |
| その他事業費<br>(講座他) |  | 2,000,000             |                            | 2,000,000               | 1,504,907         |
| HP整備費           |  | 100,000               |                            | 100,000                 | 0                 |
| 特別会計へ           |  | 0                     |                            | 0                       | 0                 |
| <b>一般会計 計</b>   |  | <b>19,550,000</b>     |                            | <b>18,550,000</b>       | <b>19,123,038</b> |
| <b>特別会計</b>     |  |                       |                            |                         |                   |
| 英文誌購読料          |  | 919,800               |                            | 919,800                 | 976,650           |
| 英文誌事務局維持経費      |  | 150,000               |                            | 150,000                 | 150,000           |
| 雑費              |  | 0                     |                            | 0                       | 470,400           |
| <b>特別会計 計</b>   |  | <b>1,069,800</b>      |                            | <b>1,069,800</b>        | <b>1,597,050</b>  |
| 事務所敷金支出         |  | 0                     |                            | 0                       | 0                 |
| <b>支出合計</b>     |  | <b>20,619,800</b>     | <b>+100万円</b>              | <b>19,619,800</b>       | <b>20,720,088</b> |

## 2010年度（平成22年度）事業計画案

2010年度（平成22年度）は、平成22年4月1日よりスタートする。平成22年の事業計画及び予算について、以下に示す。

## 1. 会誌の発行

- 13巻1号(平成22年6月発行予定)
- 13巻2号(平成22年12月発行予定)

## 2. ニュースレターの発行

- No.48（平成22年5月発行予定）：第14回札幌大会案内等
- No.49（平成22年8月発行予定）：大会プログラムを同封
- No.50（平成22年11月発行予定）：大会報告、行事報告等
- No.51（平成23年2月発行予定）：行事報告、会費納入依頼等

## 3. ワークショップ等の開催

<方針>

普及委員会行事と限定せず、地域研究会および各委員会の積極的な活動により普及および研修の企画を立て実施する。

また、後援に関しては応用生態工学研究および普及に資する行事であれば、学会名の周知の機会でもあるので名義使用を許可し、広報等に協力する。

## ● 主催・共催行事

- ①（共催）シンポジウム 2回程度予定
- ② 応用生態工学会 札幌
- ③ 応用生態工学会 仙台 第5回東北ワークショップ
- ④ 応用生態工学会 東京
- ⑤ 応用生態工学会 名古屋
- ⑥ 応用生態工学会 金沢 第9回北陸ワークショップ
- ⑦ 応用生態工学会 大阪
- ⑧ 応用生態工学会 広島
- ⑨ 応用生態工学会 松山
- ⑩ 応用生態工学会 福岡

## ● 後援行事

- ① 第13回水源地生態研究セミナー（財団法人ダム水源地環境整備センター） 秋

## 4. 公開シンポジウムの開催

秋季、札幌市において、応用生態工学会第14回大会を開催し、テーマを決めて公開シンポジウムを開催する。

平成22年度大会開催地 札幌 大会実行委員長候補 中村 太士 北海道大学大学院教授  
また、10月に名古屋で開催される「生物多様性条約 第10回締約国会議（COP10）」に向け他取り組みを推進する。これらの大会開催・取り組みの推進にあたっては、河川整備基金の申請を実施していく予定である。

## 2010年度（平成22年度）予算案

平成22年度予算は、平成20年度実績を踏まえつつ、平成21年度予算を踏襲した。平成21年度予算から増減した主要な項目についてはその要因を示した。収入増に向け、COP10対応に関する河川整備基金の申請、活動の活発化による会員の増加を図っていく。

| 収入          |               | 平成22年度<br>予 算     | 増減要因   | 平成21年度<br>予 算     | 平成20年度<br>決 算     |
|-------------|---------------|-------------------|--|-------------------|-------------------|
|             | <b>一般会計</b>   |                   |  |                   |                   |
|             | 会費収入          | 10,720,000        | (正)1,100人×5,000+<br>(学)110人×2,000+<br>(替)50口×100,000 | 11,520,000        | 10,558,655        |
|             | 雑収入           | 500,000           | 雑収入=会費編集(別<br>刷)+受取利息等                               | 500,000           | 294,176           |
|             | 事業収入          | 5,200,000         |  | 4,200,000         | 5,131,724         |
|             | 研究発表会         | 2,800,000         | H21予算+COP10(100<br>万円)                               | 1,800,000         | 3,337,000         |
|             | 講座・会誌販売他      | 2,400,000         | 講座50万円×4講座+<br>会誌販売ほか40万円                            | 2,400,000         | 1,794,724         |
|             | 助成金収入         | 2,200,000         |  | 2,200,000         | 2,580,000         |
|             | 河川整備基金        | 2,000,000         |  | 2,000,000         | 2,200,000         |
|             | 北陸(講座)        | 200,000           |  | 200,000           | 380,000           |
|             | <b>一般会計 計</b> | <b>18,620,000</b> |  | <b>18,420,000</b> | <b>18,564,555</b> |
|             | <b>特別会計</b>   |                   |  |                   |                   |
|             | 英文誌購読料        | 915,600           | 購読者116名×7,350<br>+16名×4,200                          | 919,800           | 867,450           |
|             | 英文誌広告掲載費      | 280,000           |  | 280,000           | 560,000           |
|             | <b>特別会計 計</b> | <b>1,195,600</b>  |  | <b>1,199,800</b>  | <b>1,427,450</b>  |
| <b>収入合計</b> |               | <b>19,815,600</b> |  | <b>19,619,800</b> | <b>19,992,005</b> |

| 支出          |                 | 平成22年度<br>予 算     | 増減要因                                     | 平成21年度<br>予 算     | 平成20年度<br>決 算     |
|-------------|-----------------|-------------------|--|-------------------|-------------------|
|             | <b>一般会計</b>     |                   |  |                   |                   |
|             | 管理費             | 5,400,000         | H21予算+H20光熱<br>費・雑費実績(50万円)<br>+PC(20万円) | 4,740,000         | 4,558,410         |
|             | 事業費(一般活動費)      | 14,310,000        |  | 11,710,000        | 14,564,628        |
|             | 会誌編集            | 4,800,000         |  | 4,800,000         | 4,149,842         |
|             | ニューズレター編集       | 800,000           |  | 800,000           | 711,488           |
|             | 会員募集費           | 50,000            |  | 50,000            | 39,780            |
|             | 会議費             | 1,800,000         | H20実績                                    | 1,200,000         | 1,802,198         |
|             | 委員会活動費          | 2,000,000         | COP10(60万円),普及<br>委員FWS(40万円)            | 1,000,000         | 1,462,746         |
|             | 研究発表会           | 2,800,000         | H21予算+COP10(100<br>万円)                   | 1,800,000         | 2,638,706         |
|             | 公開シンポジウム        | 2,000,000         |  | 2,000,000         | 2,254,961         |
|             | その他             | 60,000            |  | 60,000            |                   |
|             | その他事業費<br>(講座他) | 1,800,000         | 講座45万円×4                                 | 2,000,000         | 1,504,907         |
|             | HP整備費           | 100,000           |  | 100,000           | 0                 |
|             | 特別会計へ           | 0                 |  | 0                 | 0                 |
|             | <b>一般会計 計</b>   | <b>21,610,000</b> |  | <b>18,550,000</b> | <b>19,123,038</b> |
|             | <b>特別会計</b>     |                   |  |                   |                   |
|             | 英文誌購読料          | 915,600           | 購読者116名×7,350<br>+16名×4,200              | 919,800           | 976,650           |
|             | 英文誌事務局維持経費      | 150,000           |  | 150,000           | 150,000           |
|             | 雑費              | 400,000           | 次年度会場前払い金、<br>PC減価償却、会計事<br>務所預かり金       | 0                 | 470,400           |
|             | <b>特別会計 計</b>   | <b>1,465,600</b>  |  | <b>1,069,800</b>  | <b>1,597,050</b>  |
| <b>支出合計</b> |                 | <b>23,075,600</b> |  | <b>19,619,800</b> | <b>20,720,088</b> |

役員の改選

1. 経緯

- (1) 平成18年度第10回総会 規約第14条 正会員の1/5出席および委任状 改正
- (2) 平成20年度第12回総会 規約第11, 13条 理事・監事の公選 改正
- (3) 平成21年度 役員候補の募集および推薦過程・スケジュール

| 月日      | 経過  |
|---------|---|
| 5月7日    | 第1回次期役員募集・推薦委員会開催 次期役員候補募集方法、規程の確認  |
| 5月28日   | 発行NL44号により次期役員候補者の届出を募集   |
| 6月1~30日 | 次期役員候補申込の届出期間内に、他薦により5名の候補申込を受理<br>会長候補(1名) : 近藤徹<br>副会長候補(3名以内) : 沖野外輝夫、谷田一三、森下郁子<br>理事候補(15名以内) : 大島一哉<br>監事候補(2名) : 申込無し (敬称略) |
| 7月14日   | 第2回次期役員募集・推薦委員会開催 次期役員申込者の候補への承認、次期役員候補の推薦決定  |
| 8月28日   | NL45号、HPにより、会員への次期役員候補の周知。総会欠席者への事前投票の案内  |
| 9月14日   | 総会欠席者による事前投票返送締切  |
| 9月26日   | 第13回総会  |

2. 次期役員候補の推薦

学会規約(第10,11,13条)および「次期役員募集・推薦委員会規程」に基づき、次期役員候補の届出を募集したところ、会長候補(1名)、副会長候補(3名)、理事候補(1名)の申込があった。申込を踏まえて次期役員募集・推薦委員会を開催し、被届出人を含む下記の20名を推薦する。

【次期会長候補：1名】(敬称略)

近藤 徹 (新任) (財)水資源協会 理事長 【第5・6期副会長】

【次期副会長候補：3名】(50音順・敬称略)

池淵 周一 (新任) 京都大学 名誉教授 【第1・3・4期理事】

谷田 一三 (新任) 大阪府立大学 教授 【第1・2期幹事長, 第3期理事, 第4・5期副会長】

森下 郁子 (再任) (社)淡水生物研究所 所長 【第4・5期理事, 第6期副会長】

【次期理事候補：14名】(50音順・敬称略)

井上 忠佳 (新任) (株)創建 取締役副社長

江崎 保男 (新任) 兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 教授 【1期幹事, 2期理事, 5・6期幹事長】

大島 一哉 (新任) (株)建設技術研究所 代表取締役社長

風間 ふたば (新任) 山梨大学 教授 【第5・6期幹事】

熊野 可文 (新任) 利根川歴史研究会 事務局長 【第5・6期副幹事長】

|       |      |                         |                                |
|-------|------|-------------------------|--------------------------------|
| 小林 光  | (新任) | (財) 自然環境研究センター 上級研究員    | 【第2・3期理事, 第6期監事】               |
| 島谷 幸宏 | (新任) | 九州大学大学院 教授              | 【第2・3期幹事, 第4・5期理事, 会誌編集委員】     |
| 関根 雅彦 | (新任) | 山口大学大学院 教授              | 【第5・6期幹事】                      |
| 玉井 信行 | (新任) | 金沢学院大学院 名誉教授            | 【第1・2期理事, 第3・4期副会長】            |
| 辻本 哲郎 | (新任) | 名古屋大学大学院 教授             | 【第2・3期理事, 第5・6期副会長】            |
| 中村 太士 | (再任) | 北海道大学大学院 教授             | 【第1期幹事, 第2期副幹事長, 第6期理事, 交流委員長】 |
| 松井 正文 | (新任) | 京都大学 人間・環境学研究科 教授       | 【第6期専門編集委員】                    |
| 山本 晃一 | (再任) | (財) 河川環境管理財団 河川環境総合研究所長 | 【第6期理事】                        |
| 渡辺 和足 | (新任) | (財) ダム水源地環境整備センター 理事長   |                                |

**[次期監事候補：2名] (50音順・敬称略)**

|      |      |                      |         |
|------|------|----------------------|---------|
| 間宮 清 | (新任) | 応用地質株式会社 代表取締役社長     | 【第6期理事】 |
| 渡辺 晋 | (新任) | いであ株式会社 国土環境研究所 所長代理 |         |

**3. 幹事長・幹事の推薦について**

規約第12条に基づき、幹事長候補(1名)・幹事候補(15名以内)について、以下の候補(案)を理事会より推薦する。

**[次期幹事長候補：1名] (敬称略)**

|       |      |                               |          |
|-------|------|-------------------------------|----------|
| 藤田 光一 | (新任) | 国土交通省国土技術政策総合研究所河川研究部 流域管理研究官 | 【会誌編集委員】 |
|-------|------|-------------------------------|----------|

**[次期幹事候補：13名] (50音順・敬称略)**

|        |      |                                 |                    |
|--------|------|---------------------------------|--------------------|
| 浅見 和弘  | (再任) | 応用地質(株)技術本部 応用生態工学研究所 所長        | 【第6期幹事】            |
| 東 信行   | (新任) | 弘前大学 准教授                        | 【会誌編集委員】           |
| 河口 洋一  | (新任) | 徳島大学 准教授                        | 【パートナーシップ委員】       |
| 五味 高志  | (新任) | 東京農工大学 准教授                      | 【交流委員】             |
| 坂之井 和之 | (新任) | (財) リバーフロント整備センター 水辺・まちづくりグループ長 |                    |
| 清水 義彦  | (再任) | 群馬大学 准教授                        | 【第3・4期副幹事長, 第6期幹事】 |
| 関島 恒夫  | (新任) | 新潟大学 准教授                        |                    |
| 高橋 剛一郎 | (新任) | 富山県立大学短期大学部 准教授                 | 【第3・4期幹事, 情報委員長】   |
| 高村 典子  | (新任) | (独) 国立環境研究所 生態系影響評価研究室長         | 【専門編集委員】           |
| 西 浩司   | (再任) | いであ(株)国土環境研究所 自然環境保全グループ長       | 【第6期幹事】            |
| 武藤 裕則  | (新任) | 京都大学 准教授                        |                    |
| 安田 吾郎  | (新任) | 国土交通省河川局河川環境課河川環境課 流域治水室長       |                    |
| 山本 民次  | (再任) | 広島大学 教授                         | 【第6期幹事】            |

## 名誉会員の推薦について

## 1 経過

応用生態工学会は、会並びに応用生態工学の発展に大きな功績のあった個人について、理事会の推薦により、総会の決定を経て名誉会員としている（規約第5条）。現在3人の方が名誉会員（2000年10月7日の第4回総会で決定）となっている。

第48回理事会（2009年8月11～17日：電子メールを利用した会議）において、廣瀬前会長を名誉会員として総会に推薦することが決議された。

## 2 名誉会員の推薦

## ○ 廣瀬 利雄先生

- (1) 現職：(財)ダム水源地環境整備センター 顧問
- (2) 専門：土木工学（土木環境システム）
- (3) 功績

廣瀬先生は、「応用生態工学序説,1997」を監修された後、本学会（研究会）発起人として会の立ち上げに尽力され、また、発足後は副会長を2期4年、会長を2期4年務め、「自然再生への挑戦,2007」を監修されるなど、応用生態工学の発展に大きく貢献されました。

《添付資料》

## 応用生態工学会・役員名簿（第6期）

1. 会長：・ 山岸 哲 (財)山階鳥類研究所 所長)
2. 副会長：・ 近藤 徹 (財)水資源協会 理事長)  
 ・ 辻本 哲郎 (名古屋大学 教授)  
 ・ 森下 郁子 ((社)淡水生物研究所 所長)  
 =副会長3名、五十音順=
3. 理事：・ 荒井 秋晴 (九州歯科大学 口腔機能科学 講師)  
 ・ 大村 達夫 (東北大学 教授)  
 ・ 沖野 外輝夫 (信州大学 名誉教授)  
 ・ 奥田 重俊 (横浜国立大学 名誉教授)  
 ・ 角野 康郎 (神戸大学 教授)  
 ・ 竹村 公太郎 ((財)リバーフロント整備センター 理事長)  
 ・ 中村 太士 (北海道大学大学院 教授)  
 ・ 春田 章博 ((株)環境・グリーンエンジニア 取締役)  
 ・ 古川 整治 ((株)水建設コンサルタント)  
 ・ 間宮 清 (応用地質(株) 代表取締役社長)  
 ・ 森 誠一 (岐阜経済大学 教授)  
 ・ 山本 晃一 ((財)河川環境管理財団 研究所長)  
 =理事12名、五十音順=
4. 幹事長：・ 江崎 保男 (兵庫県立大学 教授)
5. 副幹事長：・ 熊野 可文 (利根川歴史研究会 事務局長)
6. 幹事：・ 浅見 和弘 (応用地質(株)技術本部 応用生態工学研究所 所長)  
 ・ 内田 朝子 (豊田市矢作川研究所 研究員)  
 ・ 小俣 篤 (国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所 所長)  
 ・ 風間 ふたば (山梨大学 教授)  
 ・ 鎌田 磨人 (徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部 教授)  
 ・ 萱場 祐一 ((独)土木研究所 自然共生センター センター長)  
 ・ 清水 義彦 (群馬大学 准教授)  
 ・ 角 哲也 (京都大学 教授)  
 ・ 関根 雅彦 (山口大学 教授)  
 ・ 高野 安二 ((財)ダム水源地環境整備センター 技術参与)  
 ・ 西 浩司 (いであ(株)国土環境研究所 自然環境保全グループ長)  
 ・ 星野 義延 (東京農工大学 准教授)  
 ・ 細見 正明 (東京農工大学 教授)  
 ・ 山本 民次 (広島大学 教授)  
 =幹事(副幹事長含め)14名、五十音順=
7. 監事：・ 小林 光 ((財)自然環境研究センター 上級研究員)  
 ・ 中村 哲己 ((株)建設技術研究所東京本社 副本社長)  
 =監事2名、五十音順=

[第6期役員は、平成19年(2007年)9月16日、第11回総会において選出された。任期は2年、平成21年総会まで]